

新春会談企画 JA広島市 TOP会談

昨年のTOP会談から1年経過。今号では新委員長・新会長に就任されたJA YOUTH広島市の武内誠委員長、JA広島市レディースクラブの山田豊子会長、そしてJA広島市の吉川清二組合長の3名が、各組織での取り組み状況などについて大いに語りました。

謹んで

新春のお慶びを

申し上げます。

組合員、地域のみなさまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。さて、世界中に大きな被害を及ぼしている新型コロナウイルスの感染者数再拡大などを背景に、経済の正常化は遅れており、JAを取り巻く環境も厳しさを増すことが想定されます。こうしたなか、JA広島市では、将来にわたり組合員や地域のみなさまから必要とされ、なくてはならない存在となるため、JAの強みである「総合事業」をより一層推し進めるとともに、「自己改革」を実践しております。併せて将来を見据えたなかで、持続的な健全経営の確立に向けて、管内の全体的な地域バランスを踏まえた店舗の再編にも取り組んでおります。この度の店舗再編においては、みなさまからの負託にこたえうる強固な経営基盤の確保と、ご利用者の満足度の向上に努めてまいります。本年もみなさまのより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表理事組合長 吉川 清二

組織活動において現在の状況は？

武内委員長…JA YOUTH広島市は、現在管内で農業に従事する盟友213名で活動していますが、組織活動については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度に入つていつもより活動がしづらい状況です。例年であれば意見交換会などもたびたび開催しているのですが、自粛が続き活動が足止めされています。

山田会長…JA広島市レディースクラブは現在会員数4200名で50支部あります。各支部で判断して活動いただいている状態ですが、一堂に会しての活動はできていません。会員のみなさんが毎年楽しみにしている行事などもたくさん中止となり、思うようにならないのが現状です。
吉川組合長…2つの組織には日頃活発に活動していただいておりますが、新型コロナウイルス感染

拡大の影響はどちらの組織活動でも深刻だと認識しています。そのようななか、令和元年7月に設立したJA YOUTH広島市の青年部の活動はどうですか。

武内委員長…今年度は委員長と青年部の部長を併せて務めさせていただきました。若手の農家も多くおりますし、盟友たちは農業振興の思いを強く持っていますので、周りの情勢を見ながらできることからやっていきたい。そのため、今は全体活動ができない分、盟友たちには各自の営農に集中してもらい、そのなかで新たな提案を集約していけたらと思っています。

山田会長…レディースクラブではコロナ禍や今後を見据え、役員が中心となって6月にアンケートを全会員に向けて実施しました。JAへの希望や今後のレディースクラブ組織の在り方についてなど質問をして、集約した意見は8月に

JAの常勤役員と意見交換会をさせていただきました。

吉川組合長…意見交換会では参考になるご意見をたくさんいただきました。まずは意見内容を職員全員で共有して浸透させていきます。JA広島市にとって農業振興や地域活動に積極的に取り組むなかで、JA YOUTHやレディースクラブという2つの組織は大切な存在なので、できる限りのことを行うとともに、みなさんご意見等をJAの経営の中にも反映していきたいと思っています。

お互いの活動で協力し合っていることは？

山田会長…何年も前からJA YOUTHと交流をさせてもらっているのですが、レディース会員の中には大規模な農家は多くはないので、

実際の圃場に足を運ぶと勉強になります。消費者や家庭菜園レベルの会員からの質問にも気軽に答えていただけるとはありがたいと、また一緒に訪問した農業女子ネットワークの方もたくさん質問していましたね。武内委員長のハウスは、IT化を取り入れて温度や肥料などをスマートフォンで管理されていてびっくりしました。

武内委員長…みなさんにミニマムの収穫を手伝っていただきました。やっぱり女性の力は偉大なので、農業への理解を深めていただき、消費者目線で地域の農産物を広めていただければ助かります。それにJAにもIT専門の営農指導員がいても面白いかもしれません。そういう先進的な農業の先駆けをJAに担っていただけたらありがたいですね。

吉川組合長…あとは長年培った経験や勘をうまく合体させていくことですね。JAとして農業を守っていく政策を打っていくつもりなので、盟友のみなさんにはぜひ協力をお願いします。
武内委員長…自分たちは先輩方が何十年もかけて培ってきたノウハウを参考にしており、伝統的な農業を守りながら新しい農業のカタチを僕らの力で作ればと思っていますので、JAにはより一層農業に力を入れていただき、相互の協力体制が築ければと思います。

吉川組合長…レディース会員のみなさんには今後も地域の活性化へのご協力をお願いします。
山田会長…JAの総合事業について知らない会員はまだ多くいます。今まではあまり関与しなかった事業部分も女性が協力できれば、

JAもレディースクラブももっと元気になるのではないのでしょうか。

今後の展望について
武内委員長…12月に初めてリモート会議を行いました。今後とも積極的に盟友の意見を聞く機会を設け、それを実現させたいです。また、耕作放棄地の問題など地域農業には課題が多くありますが、やる気のある農家も多いので、それをうまくかみ合わせるように取り組んでいきたいです。

山田会長…店舗再編によってレディースクラブ組織も変わっていく必要があります。高齢化も深刻になっているので、今後はこれを機に、新しい企画立案や新会員の獲得など前向きに行動できたと思っています。SDGsなど環境に配慮した地域活動も広めていきたいですね。

吉川組合長…現在、広島県の農業は転換期にあります。遊休圃場の集約やIT化、農畜産物のブランド化など、さまざまなアイデアを出してくださるJA YOUTH、地域の活性化を担ってくださるレディースクラブのみなさんと共に、これからもJA広島市は地域農業や地域社会の振興に努めていきます。



JA YOUTH広島市
武内 誠 委員長



JA広島市
吉川 清二 組合長



JA広島市レディースクラブ
山田 豊子 会長

JA YOUTH 広島市

JA広島市管内の農業従事者で結成されています。現在盟友213名(7支部1部会)が、農業に関する情報を交換し合ったり、地元の行事に参加するなど、農業生産の拡大や地域農業の振興に取り組んでいます。



JA 広島市レディースクラブ

JA広島市管内の女性組織です。現在会員4,200名(50支部)が、地域に密着した協同活動を展開し、地域の活性化、そして自らも輝くことを目指して取り組んでいます。

